



皆さま、こんにちは。
プレステージ・インターナショナルシンガポールの小澤です。
今回は発展著しいシンガポールからお届けします。



都会の高層ビルに包まれたイメージとは異なり、私の住むイーシュン地区は庶民的な風景が広がります。
そこには低層の古い公団住宅が所狭しと建並び、街を彩るのはウェットマーケット（朝市）や公園での太極拳（健康エクササイズ）、半裸のおじ様達（ランニングシャツは着てますがなぜか腹部だけがあらわに）。

新旧混在する下町のプチカオスが、シンガポールの私の日常です。

週末には近所のランニングコースを楽しみます。

住宅街から少し離れば手つかずの緑豊かな公園や自然保護区もあり、喧騒を離れて静かなひとときを過ごすこともできます。

熱帯雨林沿いの運河を駆け、その先のイギリス植民地時代のコロニアル建築が建ち並ぶ地区を抜けたまた先には、これまた発展目覚ましい建設ラッシュの続くマレーシアの都市、ジョホールバルのビル群を対岸に望むことができます。

イスラム教国家のマレーシアと間近に隣接し、アジアの交差点とも呼ばれる交易盛んなシンガポール。そこは東西文化が交じり合い、多様な人種や宗教がいがみ合うことなく、互いを尊重しながら絶妙なバランスを保って共存していることを肌で実感できる場所でもあります。

シンガポールの国花である「バンダ・ミス・ジョアキム」はかけ合わせのハイブリッド（交配種）。それは人種ミックスの象徴なのだとか。

そこには狭小なシンガポールが生き残っていくための強い覚悟のようなものを感じます。

文化、言語、人種が入り混じり、激しい変化を巧みに受入れ、伝統とモダンが見事な調和を奏でたその時、この国は成功を手にしたのだと思います。

懐かしの名曲「シンガプーラ」を聴きながら、新天地への期待を胸に来星してはや16年。三十にして立ち、不惑の年をどっぷりこの国で生きてきた私には、惑うことなく残り続けて欲しいシンガポールの姿がたくさんあります。



現在のシンガポールは、インフルエンザが流行し感染者数が増加しています。このような状況下で、皆様の健康を守るために、早めにインフルエンザワクチンを接種することをお勧めします。また、体調が優れない場合は早めに医療機関を受診し、皆様が健康で安全な日々を過ごされることをお祈りしております。

海を渡って頑張るあなたが安心して活躍できるように。

海外進出企業向け3in1医療サポート ヘルスケアプログラム

企業向けサービス

赴任者さまが**海外の病院**で治療を受けた場合
日本の健康保険の請求が可能です。

プレステージ・インターナショナル ヘルスケアプログラム

- 24時間日本語対応
- キャッシュレス受診
- 医療費請求サポート
- 緊急搬送サービス
- 医療相談

など充実!

詳しくはこちら